

岡山県

**すべての県民が明るい笑顔で
暮らす「生き生き岡山」**

資料概要：岡山県では、(公社)岡山県医師会を主体とした岡山地域医療構想・包括ケアシステム研究会が開催されている。

1 都道府県及び構想区域の基礎情報

岡山県

岡山県二次保健医療圏設定図

地域医療構想区域

平成29（2017）年4月1日現在



構想区域	人口	市町村数	報告対象 病院数	公立 病院	公的 医療 機関 等	その他	報告 対象 有床 診療 所	医師数	人口10 万対
県南東部圏域	920,905	7	70	9	13	48	78	3,377	366.7
県南西部圏域	706,122	8	47	4	3	40	52	2,053	290.7
高梁・新見圏域	61,820	2	7	1	0	6	5	100	161.8
真庭圏域	46,315	2	6	1	0	5	4	81	174.9
津山・英田圏域	180,239	8	16	2	1	13	20	364	202.0

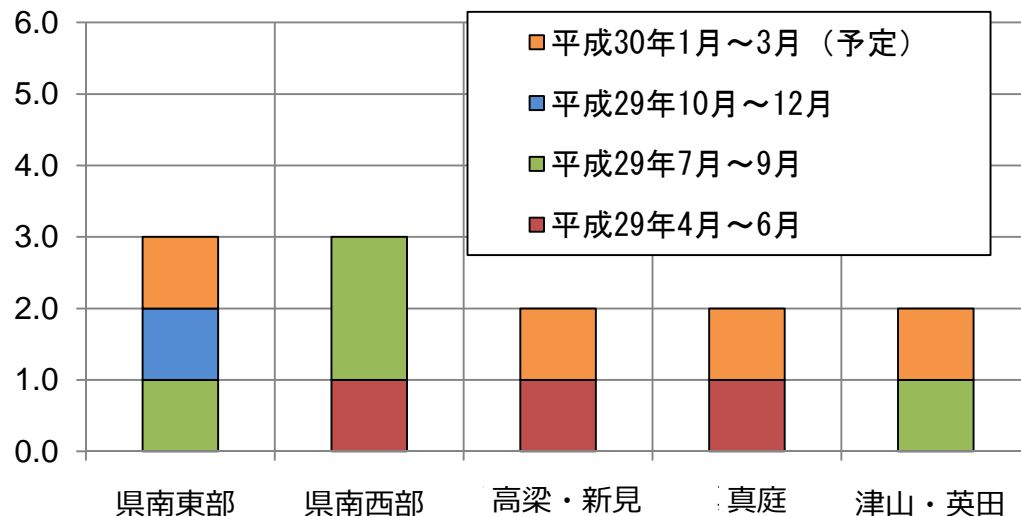
構想区域	平成28年度病床機能報告における病床数								2025年病床数の必要量				
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	非稼働病棟	未報告	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
県南東部圏域	2,369	4,182	1,350	2,471	814	—	—	11,186	1,187	3,335	2,927	2,029	9,478
県南西部圏域	1,661	3,459	1,201	2,198	452	—	—	8,971	888	2,722	2,761	1,866	8,237
高梁・新見圏域	0	342	113	322	34	—	—	811	17	123	134	192	466
真庭圏域	0	389	42	172	69	—	—	672	25	157	175	106	463
津山・英田圏域	125	996	198	781	63	—	—	2,163	132	501	483	414	1,530

2 岡山県の特徴

- 県南地域（県南東部圏域、県南西部圏域）に病院の病床（一般病床及び療養病床）が集中している。〔県南東部圏域に49.8%、県南西部圏域に36.1%〕
- 県南東部圏域の公的病院及び県南西部圏域の民間病院（川崎医科大学附属病院、倉敷中央病院）が県北地域（高梁・新見圏域、真庭圏域、津山・英田圏域）の高度急性期機能、急性期機能及び専門的医療機能を補完している。

3 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

■ 構想区域ごとの調整会議の開催状況（開催延べ回数）（平成29年12月末時点）



■ 意見交換会等の取組例

○高梁・新見圏域において、高梁市内病院関係者等との意見交換会等を実施している。

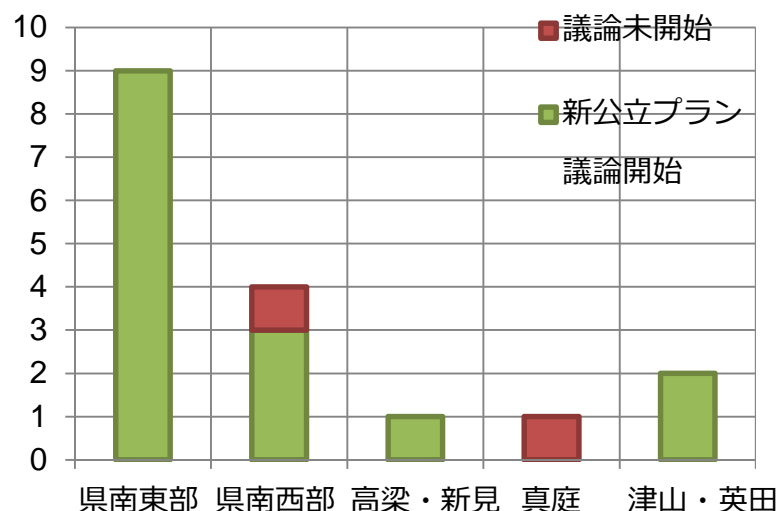
- ・ H 2 8 年度：8回、H 2 9 年度：3回（H30.1.15時点）

（圏域の特徴）

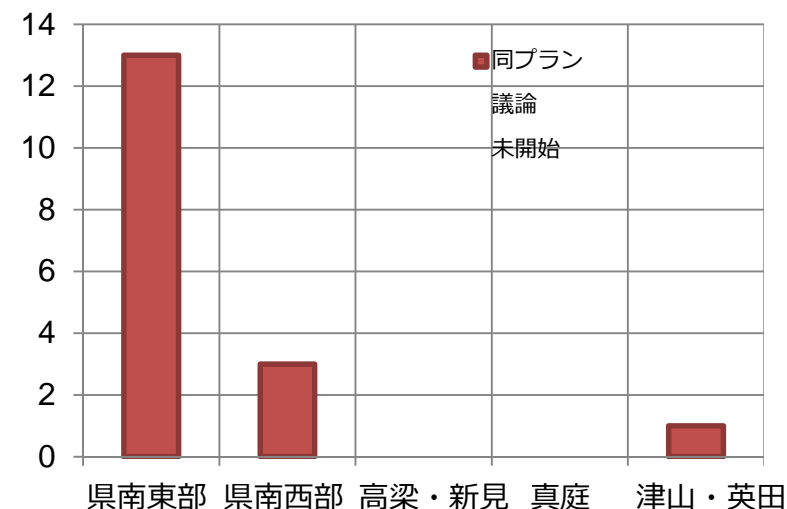
- ・ 4病床機能区分すべてにおいて、県内他圏域への患者流出割合が高い。
- ・ 高梁市内において、病院間の連携機運が醸成されつつある。

4 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランの進捗状況

- 構想区域ごとの新公立病院改革プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



- 構想区域ごとの公的医療機関等2025プランについて、調整会議での議論を開始した病院数／策定対象病院数



■ プランの活用について

協議の進め方

- ・ 病床規模が比較的大きく、政策医療への関与度の高い公的医療機関等2025プラン策定対象病院→病床規模の比較的小さい公立病院の順に議論を進めていくのが適当と考えている。

活用方法

- ・ 会議資料及び県ホームページ掲載
- ・ 両プラン策定対象病院のプランの内容を「一覧で比較」しているような先行好事例があれば、参考としたい。

スケジュール

- ・ 年度内に両プラン策定対象病院について、調整会議での議論を開始したい。

5 地域医療構想の達成に向けた独自の工夫

- 地域医療連携推進法人の設立・医療法人の合併・病院の事業譲渡等、医療機関の再編統合に向けた動きについては、当該主体に対し、許認可の申請に先立ち地域医療構想調整会議において報告し、委員からの意見を踏まえて適切に判断するよう、行政指導している。
- 岡山地域医療構想・包括ケアシステム研究会開催
 - ・主 体：（公社）岡山県医師会
 - ・地域医療介護総合確保基金補助事業
 - ・平成27年度～
 - H27：6回、H28：3回、H29：1回（H30.1.19現在）
 - ・報告書：http://www.okayama.med.or.jp/activity/kaigo_index.html

6 医療機関の再編・統合の参考事例

- 病院の事業譲渡や病院を経営する医療法人の系列化（役員兼務等による）が顕在化しつつある。
 - ・病院事業譲渡：平成28年度3件、平成29年度1件。

7 都道府県としての来年度への抱負

地域医療構想調整会議の運営について

- 地域医療構想を実現するためには、地域の医療関係者が同構想で示される将来の医療提供体制の姿を認識しつつ、まずは、各医療機関の自主的な取組によって進めていくことが重要と考えています。
- 地域医療構想調整会議は、年3回程度、定期開催することとしています。県では、同会議による関係者の協議を促進する観点から、必要な情報・データ等の提供に努め、構想の実現に向けた意見集約、合意形成に努めます。

医療機関の機能分化・連携の支援について

- 不足している病床機能への転換など、病床の機能分化、連携を推進する取組を、地域医療介護総合確保基金の活用により、必要に応じて支援します。

介護施設・在宅医療等の整備について

- 第7期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画の介護保険施設等の必要入所（利用）定員総数に基づき、計画的に整備を行うとともに、地域医療介護総合確保基金を有効に活用し、介護サービス基盤の着実な整備を推進します。
- 第8次岡山県保健医療計画に基づき、数値目標「訪問診療を実施している診療所・病院数」の達成を目指します。